

平成 26 年

1 月

開催分

東山本小学校区まちづくり協議会

ラウンドテーブル

議事録

●開催日:平成 26 年 1 月 9 日 ●発行日:平成 26 年 2 月 12 日

通学路安全見守り隊結成

12月20日、子ども安全見守り隊に東山本から5名参加。
各小学校区からの報告を冊子にまとめたものが完成。
各小学校区報告からわかるように、町会、学校ともに
見守り隊に力を入れている。



安全化工事

道路のカラー化・交差点マークの設置など道路のカラー化

- ・通学中の児童みんなが歩いている
- ・車が気が付く
- ・新鮮味がある
- ・大正解

道路幅が狭い個所については、道路カラー化が片側のみのため、登校時は左側下校時は右側通行をするようにと学校から生徒へ指導済

【2013年年末に女子児童と車両の衝突事故発生の件】

年末、五稜橋で小学校4年生の児童がそばんへ向かう途中、東側から西側に17時ごろ横断中、軽のバンと接触事故。

17時40分ごろ若草第一病院搬送後CT検査など受けるが命に別状はなくうちみとの診断。即日帰宅。終業式は欠席するも、1月6日の始業式には出席したとのこと。

小学校4年生の女の子は軽かったので軽傷で済んだ模様。

- ・道路の東側の植え込みが死角になっている可能性があり
- ・至急植え込みのカットなどの対策が必要

ラウンドテーブルって？

地域のこと、みんなで話そう！



ラウンドテーブルは、まちのことを話す場です。

地域の役員さんじゃなくても、関係なくどなたでも参加していただけます。

何かを決める場でも会議でもありません。



回覧

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

毎月第2水曜日・夜7時より山本コミセン4階で開催！どなたでも参加できます！

遊び場の減少

1月12日 とんど・コミュニティ運動広場

今年も山本高校和太鼓部が来てくれる
とんどのための木を切って確保済み
(公園外側に保管)

正月飾りの廃材(軽トラ6台分)もあるため、
今年のとんどは大きく立派になりそう。

- ・とんど用の材木保管は子どもが遊びにくい
- ・今後の課題として、とんど後の主に小学生などを対象とした公園解放の検討
- ・完全に公園として機能させるための整備
- ・球技の禁止はやむを得ない
- ・球技禁止の線引きは難しい
- ・それでものびのび遊んでほしい



東山本小学校校庭解放時間

冬～16時30分

夏～17時00分

家にいったん下校してからの利用に限る

※単純に運動スペースというだけの解放。

- ・そのため、けがの対応責任はない。
(学校でのけがについてのプリント配布済み)
- ・学校がそこまで責任を取る必要はない
- ・東大阪ではやっていない
- ・運動広場も本当は遊んでほしいが、修理費が大きく、予算を圧迫している状況
- ・硬球を使って遊ぶと、フェンスなどがすぐに壊れる
- ・球技禁止の理由の1つが修理費にある
- ・きちんと見守る必要がある。
- ・ルールを守ってもらう必要がある。
- ・しかし、いくら禁止しても他の公園でもやっているため、現状としてはいたちごっこ
- ・学校との連携した対応が必要になってくる
- ・公園は市が管理しているが、最近はいたずらが多く、ボヤ騒ぎもある
- ・点検しているが、圧倒的に人的被害による被害が多い
- ・これらの被害の多くは中学生によるものではないかと思われる。
- ・中学生もストレスがたまっている
- ・ストレスの原因は学校や家庭、人間関係に限定されたものではなく、複合的に連携を図って対策をとる必要がある
- ・現場にいる教師もがんばっている
- ・今の子供はかわいそう。
- ・治安の問題から、家の外に出ると命に関わる事件に巻き込まれてしまう可能性がある
- ・そのため家でゲームするしかない。
- ・今の子供は外で遊ぶ習慣がないため、手をつけてこけることができない子もいる
- ・そのため顔からこける子供がいる

イベント・催し

●1/22 東山本・ほほえみサロン

●遷座祭が久宝寺の西側の許麻神社で
執り行われた

→朝日新聞にも掲載された

●八尾いただきMAP完成

→八尾の特産物であるわかごぼうや枝豆、ベニタデなどを使った料理を提供してくれる
お店を網羅したMAP

小学校から

【落書きの発見報告】

- ・1月8日に発見されたのは、式部橋東のペイントした道路に落書きがされていた模様
- ・きれい補修してほしい
- ・落書きは現行犯で捕まえないと対応が困難

【通学路の安全について】

- ・とまれなどの標識や停止線を増やしてほしい
- ・その仕事は警察に権限がある
- ・市でできるのは注意表示や交差点の道路に埋まっている誘導灯（交差点の真ん中でチカチカ光っているやつ）の設置ぐらい
- ・通学路に50～60キロで突っ込んでくるやつはなんとかならないか
- ・取り締まりは警察の仕事のため、市では対応できない
- ・通学時間だけでも抜き打ちで警察に入ってもらいたい
- ・私服で警邏してほしいとは警察に要請済み
- ・どこかへ立ってもらうには嘆願書が必要か
- ・市の管轄でないことはわかっているが、道路をカラー化するとき、一時停止などの表示を入れてほしい
- ・担当の部署（建設局）も警察と話をしてははず
- ・学校の新聞が昨年11月より回覧
- ・教育現場からは、一昨年から『いじめ』多発
- ・26年度春に、いじめ防止対策推進法、去年の6月に可決
- ・各学校ごとの方針を出すため、東山本小学校の方針もただいま策定中
- ・土曜スクール実施へ平成26年度より開始
- ・八尾市が土曜日に地域の方々に学校を公開して、催し物など開催し地域との交流の機会に

【インフルエンザの流行状況】

1月8日時点で小1×1人小6×1人

- ・全国的に流行の兆しがあるため、手洗いうがいの徹底を生徒に促す

2014年の課題

- ・高齢者がいかに活動できるか
- ・子どもから促されて外出するのではなく自主的な外出を
- ・詐欺に騙されない
- ・軽トラがそのまま早急な対応が必要

地域のあれこれ

- ・溝にふたがほしい場所がある
- ・少子化の影響で、東町には中学生が3人しかいない
- ・そのため子どもの問題がない
- ・子供を地域で指導する必要がある。
- ・地域の人が子どもに注意するものいい
- ・他人からしっかり指導を受ける機会を設ける
- ・神経質になりがちな親も指導、教育する
- ・学校は児童数が少ないから、よりきめ細かい教育、指導ができるのでは？
- ・少子化の影響もさることながら、世代間交流ができていない
- ・そのため、まずはとんどなどのイベントを入口に交流を図り、地域のラジオ体操や清掃活動などに参加してもらいたい
- ・前回話に出ていたのバイクは市が撤去
- ・放置自転車が減っている
- ・そもそも放置自転車は誰かが盗んだものを置いている

※事例

放置自転車の所有者を調べると、今里在住の方のものだった

- ・放置自転車でもひどいものは河川へ投げ込まれている
- ・川さらいのときには1、2台はみつかる